

1 指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(5年間)
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 × 営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(4月～9月10:00～17:00、10月～3月10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(4月～9月13:00～14:00、17:00～18:00、10月～3月13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。 ・8/23～9/30 臨時休館 ・1/21～3/21 自由来館のみとし、全ての事業を中止。	-	
		(2)利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値				・コロナウイルスにより、8月～9月、1月～3月までの期間において臨時休館や事業が中止となったが、コロナ禍でもできる新たなイベントや行事を企画し、工夫をこらし、感染対策を徹底したことで前年度に比べ来館者数が増えた。 【3年度】来館者数 4,630人 乳幼児:1,525人、小学生:1,440人、中高生:127人、大人:1,538人 【2年度】来館者数 3,499人 乳幼児:1,181人、小学生:958人、中高生:72人、大人:1,288人 【元年度】来館者数 7,734人 乳幼児:2,261人、小学生:2,179人、中高生:215人、大人:3,079人 【30年度】来館者数 8,580人 乳幼児:2,596人、小学生:2,324人、中高生:333人、大人:3,327人 【29年度】来館者数 10,316人 乳幼児:2,694人、小学生:4,137人、中高生:161人、大人:3,324人 【28年度】来館者数 10,118人 乳幼児:2,629人、小学生:4,193人、中高生:156人、大人:3,140人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点		
			平均値比(上記(1)適用) 58%≒利用人数(延べ人数 4,630人)÷8,049人 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2年度と同様)							
(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施 (軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施 (中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計39回開催、延べ417名参加) ・児童を対象とした事業(計49回開催、延べ379名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計1回開催、延べ72名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ6名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計30回開催、延べ128名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書 以上 13 点	・コロナ禍ではあるが、工夫し、指定回数以上実施し、参加人数も増加した。 ・コロナで交流等が制限される中、保健センター等関係機関と連携、工夫して事業を実施した。 ・イベントは、人数制限や2部に分けて行う等、工夫して実施した。 ・じどうかんまつりを内容を工夫して実施し、多くの参加者があった。	13点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計31回開催、延べ411名参加) ・児童を対象とした事業(計39回開催、延べ283名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計22回開催、延べ255名参加) ・中高生事業(計10回開催、延べ37名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計3回開催、延べ19名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・様々な地域イベントが中止となる中、乳幼児親子や小学生を対象に新しい事業を積極的に企画し実施した。 ・コロナ禍での育児不安や保護者のストレスを緩和するため、様々な事業を実施した。 ・中高生利用の増加に向け、工夫し取り組んでいる。	13点			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理 業務 の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			敷地内フェンスの緩み補強、運動マットの修繕、卓球台の修理、外灯 蛍光灯交換 館庭看板の修繕 (小さなものは消耗品費で部品を購入し、安全対策を行った) 給湯器の出湯管交換 (1,650円) 10万円未満の為仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を掲示。 ブランコの柵に注意看板を掲示。 館内にハザードマップを掲示。 館庭のアルミ看板の劣化によるガタつきを修繕。 気づいた時に随時「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員間で周知している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	(2)その他管理 業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	②環境への配慮	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
						「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、施設の南と東側にミストを取り付ける、夏は高窓を開け風通しを良くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。寄付で頂いた絵本やおもちゃ等は安全に使用できるかを判断し、児童館で積極的に活用している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
						入り口や廊下に物を置かないようにし、スペースを確保。洋式トイレに幼児用便座を設置、アルコール噴霧器は小さな子どもでも利用できるよう高さを調節した。 廊下の角やラックの突起に、衝突防止用のクッションを取り付けている。 玄関入口のドアは、安全に利用できるよう開閉速度を調節している。 児童館の場所が分かりづらいとの声を受け、事業で制作した工事用囲い看板を引き取り道路から見やすい位置に設置した。 館庭からすぐに見える位置に開館の掲示をした。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
						備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
						特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0		事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 11,413,628円 ÷ 支出 10,819,144円 ≒ 105% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・乳幼児クラブ終了時と行事開催後にアンケートを実施、積極的に感想・意見を聞く場を設けた。 ・事業後のアンケートで身体を動かしたいという幼児親子のニーズに応え、運動を主とした新たな事業へと反映させた。 ・コロナ禍で遊びが制限されたり外部のイベント中止が相次ぐ中、季節を味わう行事に参加したいという保護者のニーズに応え、ハロウィンやクリスマス会、お正月遊び等の季節行事を実施。また、子ども達のニーズから、小学生クリスマス会や新年おたのしみ会など新たな事業を企画し、積極的に行った。 ・利用者が居ない時間の開閉館がわかりづらいとのご意見を頂き、遊戯室の見やすい位置に開館の看板を設置。	期待以上 13点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・コロナ禍でのニーズを把握し家庭でのストレス発散するための事業として実施する等内容を工夫している。 ・利用者の意見を積極的に取り入れて事業を企画運営している。	13点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	特になし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・コロナの為中止となったが、令和3年度も引き続きまなびパークの生涯学習コーディネーター事業共催を携して計画し、公民館がない地域で公民館に代わる施設利用として中央児童館で実施できるよう連携している。 ・毎月のおたよりは、子ども達といっしょに作成している。タイトルや挿絵等、子ども達が季節を考え描いたものを使用し、児童館事業における積極的な児童参画を推進している。 ・市の一斉清掃にも積極的に参加し、周辺住民の方々と共に地域の清掃活動を実施した。また、市の花づくり運動助成事業に積極的に取り組み、館庭の整備、美化に努めると共に、子ども達と一緒に行うことでボランティア活動へと繋げている。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。毎月「全国子育てWEBミーティング」10月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」2月18日～19日「全国子育てフォーラム」(オンライン) ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン)・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育・など専門性を高める研修)・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 14点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設としても事業を実施している。 ・コロナ禍で家庭で過ごす時間が多くなる中で、家でできる遊びと児童館だからこその遊びを織り交ぜて実施し、家庭支援に繋げている。	14点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナ禍の中でもできることを、利用者の声を聴きながら工夫し、企画実施できた。	極めて良好	